

1学期 頑張ったね！



テレビを使った生徒総会

初

感染拡大が続いている中、学校教育でもいろいろな制限を受けています。本校では7月29日にテレビを使った生徒総会を開催しました。双方向ではないので、工夫を凝らして実施することができました。

【副会長 上田真緒さんの閉会のあいさつ】

今回は、たくさんの要望や質問をありがとうございました。皆さんが普段疑問に思っていること、改善してほしいことを少しでも解決できたでしょうか。今回出された要望で通ったものはなるべく早く実行していきたいと思えます。通らなかった要望は予算上の問題や学校としてのルールの問題で難しいと判断しました。ご了承ください。追加の質問については、学級委員長さんにお伝えください。もしあった場合は、学級委員長さんが追質問票に記入し、執行部に渡してください。回答は後日お伝えします。

最後になりましたが、この生徒総会は私達生徒がよりよい福南中をつくるために要望を出したり、説明を求めた会でした。今回出た要望への回答について疑問に思ったことや、新しく改善してほしいと思うことがあれば、意見箱に入れておいてください。これからも福南中をよりよくするために、生徒全員で頑張っていきましょう。

【議長 阿部貴徳さんの感想】

今回初めてこのような形で生徒総会を行いました。途中で追質問が出てバタバタとしたところがありました。初めてにしてはよい出来だったと思います。例年は、体育館で行うので、ステージ上で発言している人が見にくいと感じていたのですが、テレビ放送を行うことで、発言者の表情がはっきりと見えて、よかったです。採決も工夫した甲斐があってスムーズに行えたのでよかったです。新型コロナウイルスに対応した学校行事の成功例として、これからの学校行事に生かしてもらえたら嬉しいです。

【校長先生の講評～抜粋】

今年度は初めてテレビを使った生徒総会を行いました。いかがでしたか。私は途中、皆さんの様子を見て各教室を回りました。生徒の皆さんが、冊子を開いて一生懸命参加している様子にとっても嬉しくなりました。

生徒会は、自分たちの学校を、自分たちの手でよくするための活動です。また、人のために活動することに喜びを感じることができる活動でもあると思っています。福南中の生徒会は委員の生徒だけでなく、皆さん一人一人が学校をよくしていくという意識を持って取り組んでくれています。だからこそ、今の福南中があるのです。福南中は生徒の皆さんが誇れる学校だと思っていますよ。自信を持ちましょう。



放送室から提案を発表し、ビデオカメラからの生中継で各教室に放送しました。暑い中、緊張しながら頑張りました。



手作りのカウンタボードで、各学年の賛成者数の合計を窓から表示しています。放送室で総数を確認して採決をしています。



冊子を開いて、テレビから流れる放送を聞いて、生徒総会に真剣に参加しています。



各提案に対して、挙手で賛成者数を確認しています。

ALTの先生のご紹介

7月2日(木)からジョッシュア・マイナー先生が、本校に木曜日と金曜日に来校して英語の指導に参加してくれます。とても気さくで、分かりやすい英語を話されるので、英語やボディラングージを使って、たくさんコミュニケーションができるといいですね。ジョッシュア先生の趣味は、楽器の演奏やキャラクターを描いたりすることです。どちらもとても上手です。時々、吹奏楽部に行って演奏したり、賞状用の色紙にキャラクターを描いたりしてくださっています。



アメリカから来ました。皆さんと一緒に英語の勉強ができることを楽しみにしています。

階段の手すりの支柱がきれいに！

特別教室棟の階段の手すりの支柱の塗料が長年の間に、剥がれてとてもみっともない状態になっていました。そこで、生徒会執行部の生徒が専門の方に技術を教わりながら、専門家の方と一緒に手すりの支柱の下塗りを頑張りました。

専門家の方のように塗れませんが、福南中のために丁寧に塗ることができました。できあがると、素敵な雰囲気になり、階段が随分と明るくなりました。



支柱の下塗りをしています。手すりに付けられないよう、また塗り残しがないよう、乾かないうちに丁寧に塗っていきました。

1学期終業式の校長先生のお話～抜粋



皆さんの成長を期待しています



よい夏休みを！

大人に向かって成長することは、大人になっても難しいことです。自由な時間があるときに、自分で目標を設定して、その達成にどれだけ努力ができるかが、自分を成長させることにつながります。また、独り立ちすること、自分だけのことを考えて行動できるようになることではありません。周りの人とどうつながって活動できるようになるかということ、周りの人のために自分ができることを見つけて行動できること、だと考えています。

とっても嬉しいお話

先日、視覚障害がある方から学校にお電話を頂きました。築港新町にあるローソンの前の交通量の多い道で、盲導犬を連れての方が、横断歩道と勘違いされて道を渡ろうとされていました。近くで心配していた3年生の中本みなもさんと藤原愛咲さんに、その方が声をかけられ、横断歩道なのかどうかを、尋ねられたそうです。すると2人はその方にハキハキと行きたいお店を聞いて、そのお店に行く横断歩道まで、手をつないでとても丁寧に誘導してくれて本当に助かりましたと、感激して学校へお礼の電話をしてくれました。

私は、このお電話のことを聞きとても嬉しく思いました。それは、2人の生徒だけでなく、福南中学校の生徒には、困っている人に、丁寧に接することのできる気持ちがきつと育っているんだなあと思ったからです。何気ない日常の中で、このような場面に遭遇したとき、当たり前に行動できるって素晴らしいことだと思いませんか。